

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記当院の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象となる方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはご連絡いただければ研究対象としません。

記

研究機関名	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
整理番号	25-529
研究の名称	緊急手術を要する重症体幹部外傷に対する術前 CT 検査の有用性に関する検討
総研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 03 月 31 日
試料・情報の利用を開始する予定日	2025 年 10 月 21 日
研究の対象	2021 年 1 月から 2025 年 6 月の間に当院で外傷に対する緊急手術を受けた方の中で、出血性ショックを呈しており、初療室や救急手術室で緊急手術を受けた方。ただし、手術部位が体幹部（胸腹部）の方のみを対象とし、来院時に既に心肺停止状態であった方、術後初療室で亡くなられた方は対象外とします。
研究の目的	外傷性出血性ショックを呈するような状況では、術前に CT 撮像を行うことなく、レントゲンや超音波診断を根拠に開胸・開腹手術を行うことが推奨される場合もあります。当院で出血性ショックを呈しており、初療室や救急手術室で緊急手術を受けた方の中で、術前に CT を撮像した方がどれくらいいて、CT 撮像を行うことでどのようなメリット、デメリットがあったかを明らかにすることを目的としました。
研究の方法	上記対象者の患者背景や外傷の詳細、来院時のバイタルサイン（血圧、脈拍、体温）、血液検査や画像検査結果、手術治療内容、手術前後の臨床経過、治療成績について電子カルテから情報を得て、詳細に検討します。
研究に用いる試料・情報の種類	試料：ありません。 情報：電子カルテに記載のある診療記録、検査データ、病歴、外傷の詳細、初療室での治療内容（CT 撮像や手術の詳細）、臨床経過、治療成績など
個人情報の取扱い	患者さんを直接特定できる氏名や住所等の個人情報は、利用する情報から削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

お問い合わせ先	<当院の連絡先> 地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 所属：救命救急科 研究責任者：茅田 洋之 住所：大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号 TEL：072-272-1199(代表)
---------	---

作成日：西暦 2025 年 9 月 3 日（第1版）